

# Hello! FUJISEI

No.127

## ● 多様なニーズに応える生命保険

長い老後の生活資金や介護資金準備、病気やケガへの備え、万一のときの家族の生活資金準備……生命保険には、これらの多様なニーズに応える機能があります。

生命保険文化センターが3年に1回実施している「生命保険に関する全国実態調査」の平成24年度調査結果（速報版）によると、平成19年以降に民間の生命保険（かんぽ生命保を除く）に加入した世帯に、その加入目的を聞くと、「医療費や入院費のため」が59.6%と最も多く、次いで「万一のときの家族の生活保障のため」の51.7%となっています。「万一のときの葬式代のため」は13.7%でした。

時系列でみると、「医療費や入院費のため」は平成9年調査（42.0%）以降増加し、横ばい傾向にあるが、「万一の生活保障のため」は平成15年調査（60.5%）以降、「災害・交通事故に備えて」は平成12年調査（24.4%）以降、減少傾向にあります。

この背景には、医療費の自己負担の増加、そして「安心して”長生きしたい”という意識の高まりがあるのでしょうか？

「子どもの教育・結婚資金のため」「老後の生活資金のため」も平成12

## なぜ、生命保険が必要なのでしょう？

# 医療費や万一の保障、長くなった老後の備え

年以降大きく減少しています。

時代の動きやライフステージの変化により、必要とされる生命保険の

機能も変わり、そのための新しい生命保険も誕生しています。

